

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

前向き観察研究に登録された骨髄異形成症候群における、同種移植までの橋渡し治療と移植成績の検討
JALSG AML/MDS/CMML Clinical Observational Study(JALSG-CS)-11-MDS-SCT

2. 研究の対象患者

2011年～2016年に日本成人白血病治療共同研究グループ(JALSG)が行った観察研究(CS11研究)に登録された70歳以下の芽球増加を伴う不応性貧血(MDS-RAEB/EB)全症例

3. 研究の対象期間

2011年～2016年

4. 研究の概要

日本成人白血病治療共同研究グループ(JALSG)が主導する観察研究(CS11研究)に登録された70歳以下の「芽球増加を伴う不応性貧血(MDS-RAEB/EB)」症例における、診断後に行われた治療別の奏効率および移植のアウトカムを検討する。また、移植が行われなかった症例においても同様の調査を行う。それにより同種移植までの橋渡し治療別の治療奏効率と移植成績、および診断後治療による有害事象等で移植を断念せざるを得なくなった事由等から、骨髄異形成症候群における同種移植までの最良の橋渡し治療を明らかにする。

5. 研究実施予定期間

2019年7月17日～2020年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診断後行われた治療内容と、それぞれの治療の効果判定
- ・ 診断時に移植を検討したかどうか
- ・ (移植施行症例のみ) TRUMP ID、移植直前のIPSS-R算定に必要な項目(骨髄芽球%、Hb値、血小板数、好中球)と骨髄染色体異常有無、染色体核型
- ・ (移植を施行しなかった症例のみ) 移植が行われなかった理由
- ・ 死因

7. 外部への試料・情報の提供

収集する情報に氏名、住所、電話番号、勤務先などの情報は含まれない。暗号化されたインターネット通信により研究事務局に送付、保存される。

8. 研究組織

日本成人白血病治療共同研究グループ(JALSG)参加施設

9. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

・研究責任者：血液内科 田中 宏明

・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)

(研究代表者)

金沢大学附属病院 血液内科 石山 謙

電話：076-265-2000(代)